

令和7年度 本庄市 施政方針

「支えあいとチャレンジ」
明るく前向きで持続可能なまちづくり
に向け、市政を着実に進展



吉田信解

本年も、本庄市総合振興計画基本構想に掲げる将来像の実現に向けて、後期基本計画に基づく施策を市民、事業者、団体の皆さまと

いった多様な主体と協働しながら推進し、「支えあいとチャレンジ」の精神をもって、市政のさらなる発展に取り組みます。

昨年、本市が持続的に行政サービスを提供していくために、学校施設を含む公共施設の再配置、下水道使用料及び水道料金の見直し、高齢者福祉事業の見直し等を行いました。今後の進捗等も丁寧に説明を尽くしてまいります。

行政経営に関する基本的考え方

社会課題である少子化対策、超高齢社会への対応について、基礎

自治体として施策を進めるとともに、交通利便性や安全安心な暮らしやすさといった本市のポテンシャルをさらに高め、対外的にも大いにPRしてまいります。

本年、施策を進めるうえで掲げる言葉は活力の「活」です。一人ひとりが温かい支えあいと、熱いチャレンジ精神を持って課題に向き合い、市政を着実に進展させていく、という願いと決意を込めたものです。

市民の皆さまのニーズに対して、行政資源を効果的、効率的に活用しながら各種施策を展開するとともに、市民、事業者、団体の皆さまがそれぞれにまちづくりの主体となってその強みを存分に発揮し、活躍できるように、また、ご

協力をいただけるよう、明るく前向きで持続可能なまちづくりを目指してまいります。

予算編成の基本的考え方

本市の財政は、歳入では、根幹である市税や地方交付税の伸びを見込むものの、歳出は、人件費や社会保障関連経費の増加のほか、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進や防災対策、公共施設の改修・更新等に係る経費の大きな増加を見込んでいます。

持続可能な財政運営のため、予算編成では、実施事業の歳出抑制を図るとともに、負担の平準化を踏まえた基金や償還額とのバランスを考慮した適正な地方債の活用により、世代間の負担の公平性を

確保し、将来の負担が過大とならないよう努めています。

令和7年度は、総合振興計画後期基本計画に基づく優先的・重点的に取り組む重点施策として、「将来を担う人づくり」、「地域共生社会の実現」、「未来への投資」、「持続可能なまちづくり」の4つを掲げ、積極的に施策を実施してまいります。

本庄市長

予算総額
570億3,137万円
(前年度と比べ、
14億2,383万円増)

令和7年度 本庄市 予算

会計別予算

区分	予算額	増減率
一般会計	337億300万円	5.5%
特別会計		
国民健康保険特別会計	79億8,942万円	△1.4%
介護保険特別会計	67億9,150万円	3.4%
後期高齢者医療特別会計	12億571万円	5.5%
特別会計計	159億8,663万円	1.1%
公営企業会計		
水道事業会計	36億6,872万円	24.3%
下水道事業会計	36億7,302万円	△24.9%
公営企業会計計	73億4,174万円	△6.4%
合計	570億3,137万円	2.6%

※公営企業会計(水道事業会計・下水道事業会計)の予算額は、収益的支出額及び資本的支出額の合計額を記載しています。

市民1人当たり*が負担する市税 15万3,683円

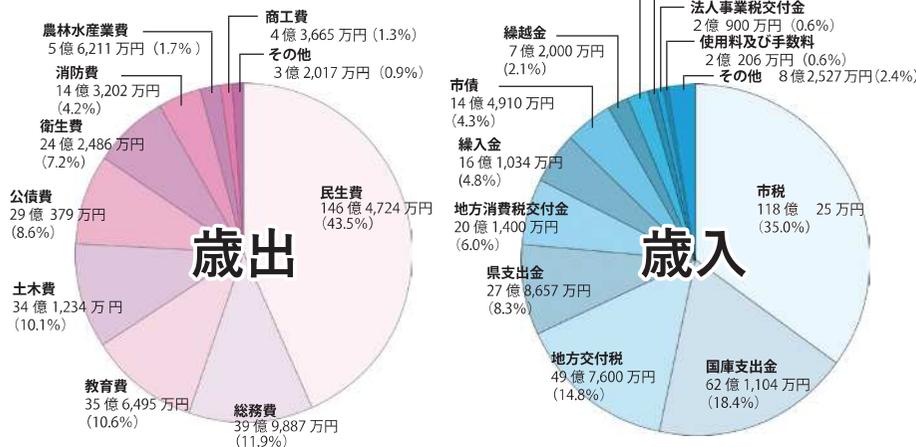
固定資産税	6万9,214円	市たばこ税	7,639円
市民税	6万3,843円	軽自動車税	3,542円
都市計画税	9,439円	入湯税	6円

市民1人当たり*に使われるお金 43万8,938円

民生費	19万761円	衛生費	3万1,581円
総務費	5万2,080円	消防費	1万8,650円
教育費	4万6,429円	農林水産業費	7,321円
土木費	4万4,441円	商工費	5,687円
公債費	3万7,818円	その他	4,170円

※令和7年1月1日現在の人口(76,783人)で計算。

一般会計予算の構成 337億300万円



※構成比は小数点以下第二位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

令和7年度 本庄市重点施策



01 将来を担う人づくり 人材育成

安心して出産・子育てできる取組や教育支援の充実を図り、次代を担う人材が育つまちを目指します！



01. 相談体制の充実

- 訪問相談事業：117万9千円
- 地域子育て支援拠点事業：5,926万5千円

02. 子育て環境の整備

- 小学校プール解体事業（老朽化した中央小学校プールの解体設計業務を行い、前原学童保育室の中央小学校プール跡地への移設を検討）：429万円

03. 健やかな成長の支援

- ★ヤングケアラール支援事業（リーフレット作成、子育て世帯訪問支援事業の実施）：147万6千円
- ★妊産婦等健診事業（低所得の妊婦に係る産科受診料助成、産後健診費用の助成拡充）：271万1千円
- ★子どもの学習・生活支援事業に係る大学等受験料等補助金（案）支給事業（生活保護及び生活困窮世帯の対象者に大学等受験料を補助）：15万8千円

04. 経済支援

- 保育料無償化拡充事業（無償化の対象を第3子以降から第2子以降に拡充）：1人あたり年間最大60万円の軽減
- ★学校給食費補助事業（公立小中学校に通う2人目以降の児童生徒に係る給食費を補助）：7,912万7千円

05. 教育支援

- ★小中一貫教育推進事業（「高保己一に学ぶ学習」による9年間を通じた系統的な教育）：344万5千円
- ★ヒロシマ平和学習事業（「ヒロシマ平和学習受入プログラム」に中学生が参加）：111万1千円

06. 教育環境整備

- ★体育館空調設備整備事業（市立4中学校体育館アリーナに空調設備を整備）：4億3,431万円
- ★本庄南中学校大規模改修事業（長寿命化改修工事を実施）：3,592万8千円

02 地域共生社会の実現

地域共生社会の実現を目指すための体制を整備し、誰もが生きがいを持って暮らし続けることができる、笑顔あふれるまちを目指します！



01. 相談体制の充実

- ★重層的支援体制整備事業（さまざまな課題を抱えた方に対し、市全体がチームとなって支援を実施）：33万1千円
- 家計改善支援事業：68万2千円
- 自立相談支援事業：1,508万2千円

02. 福祉サービスの充実

- 高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事務：577万6千円

- 介護予防・生活支援サービス事業（短期集中サポートサービスを活用したモデル事業を実施）：48万円

03. 人にやさしい生活環境づくり

- ★パープルリボン運動啓発品作成業務（支援体制の周知や予防啓発等）：26万2千円
- ★がん患者アピアランスケア用品購入助成事業：40万円
- 本庄駅南口駅前広場改築事業（歩行者の安全確保や乗合停留所等のバリアフリー化）：8,971万2千円
- 特定道路踏切改良事業（特定道路内踏切の踏切道内誘導表示設置計画の策定）：300万円

03 未来への投資

先行投資

地域の活性化の可能性を広げるための取組や、市民の暮らしをより便利にするための取組を強化し、魅力あふれるまちを目指します！



01. 産業の振興

- ★本庄産あまりんPR促進事業（主要産地としての魅力を発信し、ブランド地位の確立を目指す）：590万2千円
- ★森林林業行政支援事業（森林管理の専門的な支援を受け、業務遂行体制を強化）：265万8千円

02. 魅力向上に向けた取組

- ★市制施行20周年記念事業（式典開催等）：509万5千円
- シティプロモーション事業（市の魅力を発信する人材を発掘・育成する講座を開催し、関係人口の増加を図る。市ブランドメッセージの認知度向上、愛着醸成）：212万8千円
- 本庄総合公園拡張整備事業（南側駐車場等整備）1億9,097万1千円
- ★マリーゴールドの丘公園拡張整備事業（用地測量等）：728万1千円

- ★若泉第二公園若泉橋修繕工事：1,533万6千円
- 有形文化財（建築物）耐震工事等補助事業：285万円
- ★文化財保存活用推進事業（文化財保存活用地域計画に基づく「本庄宿町並み調査」を実施）：447万5千円

03. まちなか再生に向けた取組

- 本庄駅北口周辺まちなか再生方針検討事業：2,462万3千円
- 本庄駅北口駅前街区等整備事業（駅前広場等の再整備に向けた方針等の検討）：1,653万円

04. デジタル化の推進

- ★スマート窓口事業（窓口申請書の自動作成）：8,528万1千円



04 持続可能なまちづくり

持続可能なまちづくり

住み慣れた地域で誰もが安心して住み続けられるよう、持続可能なまちを目指します！



01. 公共施設の再配置

- ★公共施設等マネジメント推進事業（共和公民館跡地に複合施設を建設するための設計業務）：2,836万9千円
- 共和公民館管理運営事務事業（複合施設への移行に向けた共和公民館の解体設計）：605万円

02. 公共施設の維持管理

- 本庄駅南口複合施設設備更新事業（トイレ等の更新工事）：3,992万9千円
- 市民文化会館管理運営事業（空調設備等の工事・修繕）：4,560万6千円
- 若泉運動公園武道館柔道場柔道畳更新事業：986万7千円
- 若泉運動公園武道館剣道場床改修事業：322万3千円



03. 官民連携の推進

- ★ウォーターPPPの導入検討業務（下水道の維持管理業務を包括的に実施する官民連携方式の導入を検討）：2,260万円
- 空き家対策事業（空き家に関して苦情から課題解決までワンストップで対応する事業を実施）：950万6千円

04. 災害対策

- 防災ガイドブック作成事業：3,137万2千円
- ★想定浸水深表示板設置事業：80万9千円
- ★応急給水活動整備事業（必要となるマニュアルの策定、資機材等の整備）：2,004万5千円

05. 環境に配慮した取組

- ★資源物分別回収事業（ダンボール回収を開始）：2,427万1千円 [うちダンボール回収費用：277万2千円]